

「ようこそ、江戸吉原へ」 2003年2月2日 山下美智子、

- ・吉原の成り立ち 徳川幕府が開いた新耕地には、侍や職人が集まり治安の悪化を防ぐため
- ・吉原の遊女の階級、最高級遊女は大名とも相対する知識や芸を磨いていた
- ・旧吉原は、今の人形町あたりにあり、明暦の大火で江戸がほとんど焼け野原になり。10万人が死亡したことから、新吉原に移ってゆきました。TVや映画などで見る吉原は新吉原のお話です。
- ・最高級遊女と遊ぶとはどういうことか？
- ・吉原細見は、遊女のミシュランガイドです。
- ・花魁道中はただのパレードではなく、お大臣が、自分の敵娼を「揚屋」「引手茶屋」に呼んで、宴会をする時と、妓楼に帰る時に花魁が一行を引きつれて行き来する道中です。
- ・吉原のメインストリート中の町には高級な大店が並んでいました。
- ・大店、中店・小店は、籠の様子で一目でわかりました。
- ・華麗に見える遊女たちは主に貧困農家から、女衞により買われて、見世に売られました。
- ・華やかに見える遊女たりは過酷な労働と、万年睡眠不足・そして結核や梅毒などで平均年齢22歳でこの世を去りました。
- ・幕府は岡場所を取り締まりましたが、中には賄賂などで取り締まりの日にちを知らせたり、男性の人数があまりに多いため、取り締まりはゆるゆるだったり、法律を作っても颯ごっこでした、
- ・岡場所の繁栄と、岡場所の女性たちを吉原に入れたため、吉原の品格が落ち、ダンピングが進みました。
- ・昭和33年に売春防止法が出来るまで、吉原は続いていました。

レジメに書けないことが多いので気になった事やクイズの正解はメモにお使いください
〈メモ〉

高級花魁が、一生を通して、徹底的に守ったのが、自分の生きざまを絶対に曲げない根本姿勢「意気地」それが「張り」でありそんな彼女たちを敵娼(あいかた)とするには、垢抜けして、金銭に執着しない姿勢が「粹」を生んだとおもわれます。
苦界に苦しむ遊女にサービスするのは男の方であり、客より、花魁が上座に座ったそうです。それは、男の気質が問題とされ、侍だからとか、関係ない、一歩大門をくぐれば男はみな同じ。それは、相手を思いやる余裕と、一歩ひいたやせ我慢の気質
これが、今に語り継がれる「江戸しぐさ」に匹敵すると思われま

参考文献：吉原遊郭花魁の秘密(小菅宏) 遊女の知恵(中野栄三)；江戸の花街「遊郭」がわかる(凡平)
遊女と遊郭の色世界(博学こだわり倶楽部)；漫画お江戸風俗帳(金森健生)
國文学10月臨時創刊号；江戸吉原入門(東京人2018)；一日江戸人(杉浦日向子)